



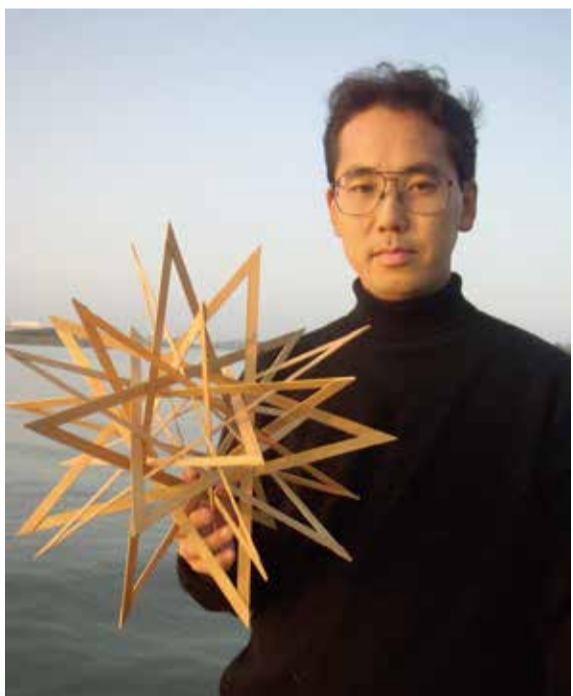
Meiji University  
Center for Mathematical Modeling and Applications

# CMMMA Colloquium

第23回 現象数学コロキウム

# 23

## 黄金比の数理的造形 音楽から建築まで



講演者：龍谷大学 日詰 明男  
Akio HIZUME

2016年 11月 25日(金)

16:30~17:30

会場：明治大学 中野キャンパス  
高層棟 6階 603 教室

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート  
現象数学研究拠点



Abstract:

黄金比やフィボナッチ数は古くて新しい問題です。前世紀に発見されたペンローズ・タイル、そしてコンピューターの普及によって、その可能性は広がるばかりです。

黄金比は最もシンプルな二次の無理数であり、最もシンプルなフラクタル生成機関と位置づけられます。

それは単に「美しい形」を生むだけでなく、特筆すべき工学的機能があります。たとえば地震などの災害に強い建築・都市とか、あらゆる意味で従来の対極にある音楽理論とか、究極の階段、究極の交通網、干渉の起こらない発振器等々。数学に裏打ちされた工学は、使い方によって毒にも薬にもなります。

過去 30 年、科学、工学、芸術、哲学などの分野にわたる実践のなかで、偶然かつ必然的に生まれた小品のいくつかをお見せします。それぞれは一見ばらばらな作品群に見えるかもしれませんが、どれも一貫して「黄金比」の線で結ばれ、一種の星座を形成しているのです。

■連絡先

東京都中野区中野 4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階  
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp